



特集

市の環境教育・学習の取組について

川崎市 環境情報

検索

No.594



環境教育・学習の取組は、持続可能な社会の構築と脱炭素社会の実現に向けた人材育成のため、環境配慮行動を促すしくみの基盤となるものです。

環境教育・学習を、子どもたちだけでなく、家庭、職場、地域、学校等様々な場で進めるとともに、本市のこれまでの取組や、持続可能な開発のための教育（ESD）、持続可能な開発目標（SDGs）の視点を取り入れた取組を進めます。

脱炭素やSDGsなど、世界を取り巻く最新情報をインプットした上で、かけがえのない地球を守っていくために、私たちは何をすべきなのか、一緒に考えてみませんか？



市の環境教育の取組について

「豊かな未来へつなぐ心の輪 ～“知っている”から“できる”へ～」

持続可能な社会を実現させるために、市民・事業者・行政の協働による取組を通じて、知識の習得にとどまらず、複雑化・多様化する環境問題に対応でき、様々な主体や問題の関連性について理解し、主体的に行動できる人材を育成することをめざし、次の3つの施策を実施しています。

つながる ～協働取組の推進～

豊かな自然、環境技術の集積、数々の環境教育・学習の拠点、地域における活発な取組などの、地域にある資源を十分に活用し、市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組んでいます。

伝える ～環境教育・学習を地域で実践～

家庭や職場、学校などの様々な場で環境教育・学習を実践し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促しています。



活かす ～人材育成とその活用～

環境教育の持続的な発展に向けて、環境保全活動の核となる人材育成や、環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進しています。

川崎市 環境教育・学習の紹介

検索

問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-2387 FAX 200-3921

お知らせ

川崎市緑の実施計画 2020年度実績報告

緑の実施計画は、緑の基本計画の施策目標を着実に推進するために策定された実行計画です。今年度、第1期緑の実施計画の計画期間の終了を受け、第2期緑の実施計画の策定作業を進めています。

この計画に基づく2020年度の実績と共に、第2期緑の実施計画策定の方向性について、川崎市環境審議会において報告します。

詳細は、市のホームページでご覧になれます。
(実績は、40の実施策ごとに取りまとめています。)

緑の実施計画

検索

問い合わせ：建設緑政局企画課（緑政計画担当） TEL 200-2399 FAX 200-3973

お知らせ

川崎市一般廃棄物処理基本計画第2期行動計画（令和2年度）進捗状況

市では、2025年度までの取組の方向性を定めた「川崎市一般廃棄物処理基本計画」を2016年3月に策定しました。また、基本計画の実効性を確保するため、4年間を計画期間とした行動計画を定めています。

第2期行動計画は、2018年～2021年度の4カ年を計画期間とし、3つの目標を定めています。2020（令和2）年度の目標の達成状況は次のとおりでした。

項目	2016年度 (基準年度)	2020年度 (実績)	2021年度 (第2期目標)
目標1 1人1日あたりの普通ごみ排出量36g削減	443g	447g (+4g)	407g (-36g)
目標2 家庭系資源化率32%	28%	25.8% (-2.2%)	32% (+4%)
目標3 ごみ焼却量2.2万t削減	36.6万t	35.8万t (-0.8万t)	34.4万t (-2.2万t)

※ 目標1、3については、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度より増加

※ 目標2については、ペーパーレス化・電子化の進展等により、近年は減少傾向

ごみの減量化・資源化に向けた取組を引き続き推進していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、取組の詳細については、市ホームページ（2月中旬掲載予定）をご覧ください。

川崎市一般廃棄物処理基本計画

検索

問い合わせ：環境局廃棄物政策担当 TEL 200-2558 FAX 200-3923

お知らせ



2021年度版環境基本計画年次報告書を発行しました

市では、環境基本計画の適正な進行管理を図るため、環境基本計画年次報告書を作成しており、この度、2020年度における本市の環境の現状と施策の実施状況を取りまとめた2021年度版の年次報告書を発行しました。

今後の環境施策の参考とさせていただくため、年次報告書について皆さまからご意見を募集します。

意見提出方法
(様式自由)

住所、氏名、連絡先、意見内容を記入し、郵送またはFAXにて環境局企画課までご提出ください。
また、ホームページからのEメールもご利用いただけます。



提出先(郵送)：〒210-0005 川崎区東田町5-4 第3庁舎17階

※年次報告書は、区役所、市民館、図書館、ホームページなどでご覧になれます。

川崎市環境基本計画年次報告書

検索

問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-2386 FAX 200-3921

お知らせ

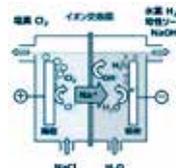


2021年度低CO2川崎ブランド・川崎メカニズム認証制度の認定・認証結果

川崎市と産業支援団体等で構成される「低CO2川崎ブランド等推進協議会」では、CO2排出量の削減に貢献する製品・技術等を認定する「低CO2川崎ブランド」と、温室効果ガスの削減量を認証する「川崎メカニズム認証制度」を実施しています。

2021年度は、11件の製品等を「低CO2川崎ブランド'21」に認定(うち2件を大賞に選定)し、3件の製品等を「川崎メカニズム認証制度」において認証しました。

低CO2川崎ブランド'21大賞製品

 		  
<p>旭化成株式会社 川崎メカニズム同時認証 【イオン交換膜「Aciplex™ (F7001)】苛性ソーダの製造に使用する世界シェアNo1のイオン交換膜。</p>		<p>株式会社ルートレック・ネットワークス 【AI自動灌水施肥システム「ゼロアグリ」】AIとIoTで農業の水やり・施肥を自動化・最適化するシステム。</p>

その他の認定・認証製品等一覧

株式会社アップコン	メカニズム	【コンクリート床スラブ沈下修正工法「アップコン」】
荏原工業洗浄株式会社	ブランド	【水性フレキシインキ廃液などの樹脂懸濁水廃水処理装置「フレキス 1000」】
JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)	ブランド	【消火設備用軽量鋼管『FAST®10』】
東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所	ブランド	【マイクロ波半導体「Ku帯 100W GaN HEMT (TGI1314-100 シリーズ)】
	ブランド/メカニズム	【銀行券鑑査機 (FS-2000)】
東芝キャリア株式会社	ブランド	【ビル用マルチ空調システム「スーパーマルチuシリーズ」】
ナノフュエル株式会社	ブランド	【ナノエマルジョン燃料製造装置「NEFS」】
不二プラント工業株式会社	ブランド	【ハイ・パワーアルカリ電解水生成装置 (HPAR-36A)】
株式会社ベネテックス	ブランド	【検診等に搭載可能なリチウムイオン蓄電池 (RSV-5012A)】
株式会社リコーン	ブランド	【サスティナブルセメント (STC)】



認定・認証製品の詳細はホームページをご覧ください。



問い合わせ：低CO2川崎ブランド等推進協議会(環境局地球環境推進室) TEL 200-3872 FAX 200-3921

月一
データ

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2021年12月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。12月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: μ Sv/h)	0.03 ~ 0.04 μ Sv/h	12月7日~12月28日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: μ g/L)	不検出 (検出下限値: 1.0)	12月16日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくはホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

月一
データ

大気環境 (2021年12月)

- 二酸化窒素 (NO₂)：一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM)：一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 微小粒子状物質 (PM_{2.5})：一般局は全局で日平均値が35 μ g/m³以下でした。自排局は全局で日平均値が35 μ g/m³以下でした。

		二酸化窒素(NO ₂)			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM _{2.5})			
		月平均値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppm以下の日数割合(%)	月平均値 (mg/m ³)	環境基準を超過した日数(日)	環境基準に適合した日数の割合(%)	月平均値 (μ g/m ³)	日平均値が35 μ g/m ³ を超過した日数(日)	日平均値が35 μ g/m ³ 以下の日数割合(%)
一般環境大気測定局	大 師	0.022	3	0	100	0.011	0	100	8.7	0	100
	田 島	----	----	----	----	0.012	0	100	12.5	0	100
	川 崎	0.023	4	0	100	0.010	0	100	10.7	0	100
	幸	0.021	2	0	100	0.011	0	100	8.0	0	100
	中 原	0.021	1	0	100	0.010	0	100	7.9	0	100
	高 津	0.021	0	0	100	0.012	0	100	10.0	0	100
	宮 前	0.020	0	0	100	0.011	0	100	6.8	0	100
	多 摩	0.019	0	0	100	0.008	0	100	----	----	----
	麻 生	0.015	0	0	100	0.008	0	100	6.5	0	100
	平均	0.020	—	—	100	0.010	—	100	8.9	—	100
自動車排出ガス測定局	池 上	0.035	9	0	100	0.014	0	100	10.2	0	100
	日 進 町	0.023	3	0	100	0.009	0	100	8.5	0	100
	富士見公園	0.024	2	0	100	0.011	0	100	10.5	0	100
	遠 藤 町	0.028	4	0	100	0.010	0	100	----	----	----
	中原平和公園	0.022	2	0	100	0.011	0	100	8.4	0	100
	二 子	0.030	5	0	100	0.010	0	100	9.9	0	100
	宮前平駅前	0.022	0	0	100	0.012	0	100	8.0	0	100
	本 村 橋	0.021	0	0	100	0.010	0	100	7.3	0	100
	柿 生	0.020	0	0	100	0.009	0	100	9.9	0	100
	平均	0.025	—	—	100	0.011	—	100	9.1	—	100

- 注1：本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。
 注2：本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。
 注3：田島局のNO₂は、測定機故障のため、当月の測定データはありません。

環境基準

- 1 二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
- 2 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下
- 3 微小粒子状物質：1年平均値が15 μ g/m³以下であり、かつ、1日平均値が35 μ g/m³以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-2-1-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,159人
 (認定者総数6,055人－認定失効者数4,896人)
 認定失効者数4,896人
 (治愈等2,102人＋死亡者数2,794人)
 令和3年12月末現在 (健康福祉局)

発行編集
 川崎市環境局総務部企画課
 電話 044 (200) 2386 (直通)
 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

